



取り組み①

**子どもの安全
見まもり隊**

登下校時間に、通学路の見通しの悪い交差点などに旗を持って立ち、子どもたちに声をかけたりして、安全を見守ります。地域のまつりなどでパトロールを行う校区もあります。

地域の子どもは
地域で守る!



「青少年を守る会」は

こんな取り組みをしています

箕面市では、各小学校区に市民団体「青少年を守る会」が設立されています。日頃から、子どもの見守り活動や三世代交流事業などを通して顔の見える関係づくりを進め、子どもたちにとって重大な事件や事故が起こった非常時には、地域で一致団結して子どもの安全・安心を守ることができるよう活動しています。



取り組み②

青色防犯パトロール

主に子どもの下校時や放課後に、通学路を中心に校区のパトロールを行っています。また、不審者情報があれば、その地域を重点的に巡回します。



取り組み③ おあしす運動

人との出会いの中で大切なのは基本的な「あいさつ」。おあしす運動から人間関係の輪を広げていきます。

「おあしす運動」は、あいさつの言葉の頭文字をとったもので、「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」を日頃から言えるように心がけようという運動です。

取り組み④

**地域交流(三世代交流)
イベントや大人向け学習会**

地域運動会など、地域のみなさんが一緒に楽しめるイベントを開催し、子どもも大人も顔の見える関係を作っています。また、保護者を対象に、時代に合ったテーマの学習会などを行っています。



「青少年を守る会」とは

「地域の子どもは地域で守ろう」という合い言葉のもと、PTAを中心に地域のかたが集まってできた組織です(下図参照)。構成団体や活動内容は校区ごとに異なり、全構成員が守る会のメンバーになっています。



主な取り組み

- ① 子どもの安全見まもり隊
- ② 青色防犯パトロール
- ③ おあしす運動
- ④ 地域運動会など

子どもの安全見まもり隊
パトロール実施中!
小学校区

「子どもの安全見まもり旗」を全校区に設置しています

「子どもの安全見まもり旗」は、“地域の子どもは地域で守る”という強い思いを示すもので、安心感の醸成や犯罪の抑止につながるものです。

青少年を守る会が、平成15年頃に一部の校区で旗の設置を開始し、その後、全校区へ広がりました。小・中学校の敷地外縁、通学路、公園など、現在は市内全域に約600本の旗が設置されています。

